

1. 重点検討地区整備構想

1) 重点検討地区整備構想の位置づけ及び役割

重点検討地区整備構想は、地域別構想を踏まえ、地域の中でも特に、活用方法を検討していきたい場所を、ワークショップ参加者によって選定し、検討したものです。

2) 重点検討地区の選定

重点検討地区は各地域ごとに、次のように選定しました。

(1) 東部地域

- ・御園駐在所跡地

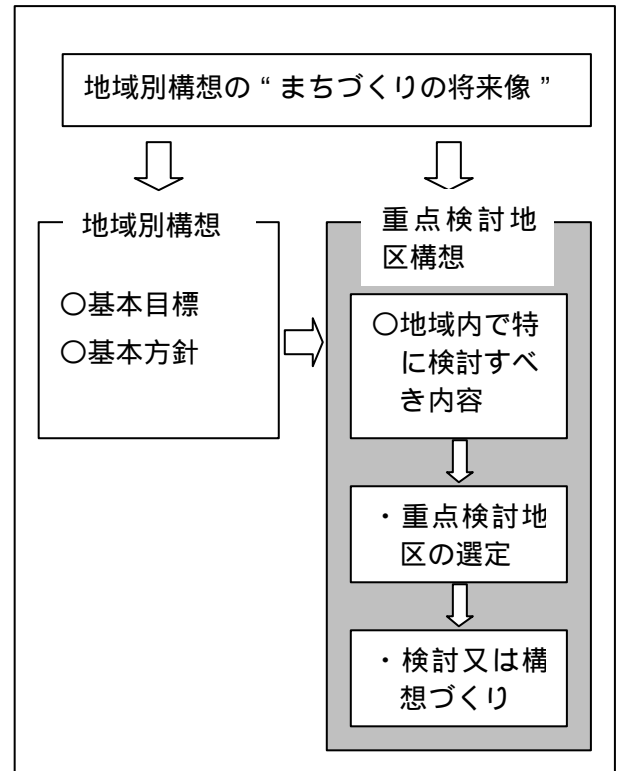
(2) 中部地域

- ・御殿山及び蒲原城跡

(3) 西部地域

- ・山手線及び周辺の歴史的資源
- ・神沢川東側材木置場跡地
- ・JR 蒲原駅周辺の空き店舗、空き地

重点検討地区整備構想と地域別構想との関連



2. 東部地域における重点検討地区整備構想

東部地域のワークショップ参加者によって、「地域別構想」の中から重点的に検討すべき基本目標等を次のように捉えました。

地域別構想の中から選定した基本目標等

基本目標	選定理由	選定場所	構想づくりの方向性
身近な緑に親しめるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 17 年度に御園駐在所が JR 新蒲原駅前に移転することが決まり、跡地を町有地として活用することとなった ○平成 18 年には公園整備を行なう予定 ○地元としては、どのような公園にしたいのかワークショップで検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・御園駐在所跡地 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園的利用

1) 重点検討地区

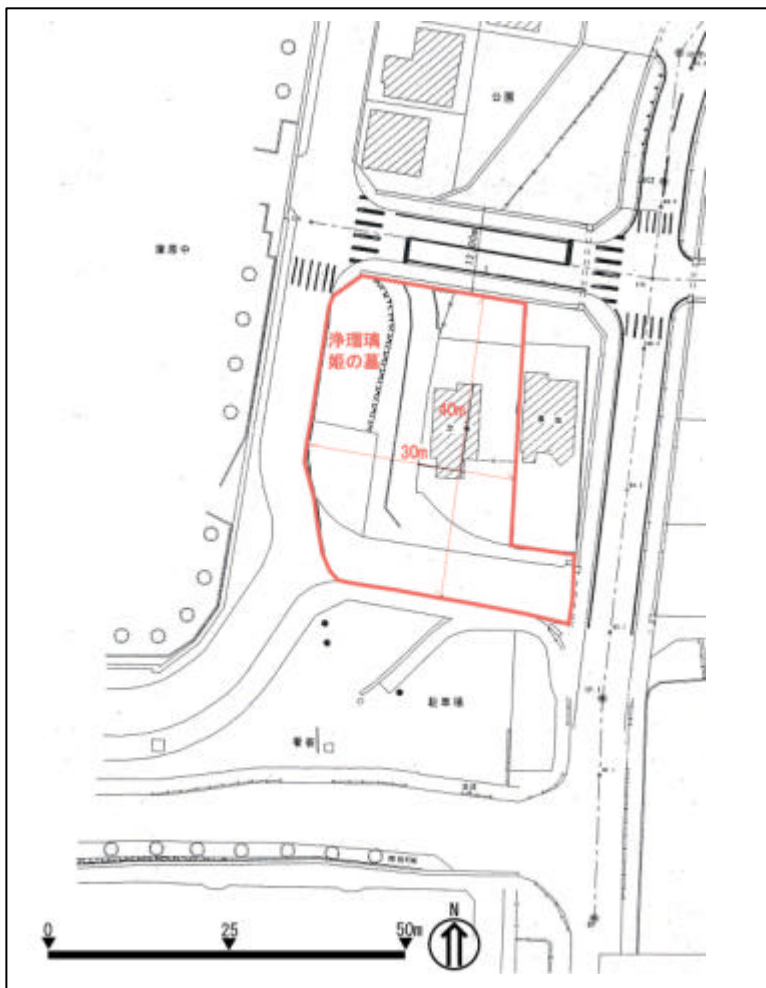
重点検討地区は以下に示す場所であり、3方を道路で囲まれ、北には蒲原中学校、南には農協支所が立地しています。

また、敷地の北側には、浄瑠璃姫の墓と六本松が既設しています。

重点検討地区



敷地の状況



2) 御園駐在所跡地利用構想

名称：「みその公園（仮称）」

公園の性格

○子供や中学生が「安全に楽しく利用でき、
高齢者もゆったりと寛げる開放的な公園

みその公園命名理由：

日軽金社宅の新蒲原駅前への移転に伴い、御園区と共に地名も消滅することから、その名を残しておきたい。

また、地域住民の皆の園であり、美しい園であって欲しいという願いを込めて…

<公園の噴水活用例>

噴水は公園を特徴づける目玉施設

夏…子供達が水遊び

冬…噴水を止めて、広場として活用

(フリーマーケットやサークルなど各種団体の活動の場に)

(1) 具体的構想(案)

区分	内容
○管理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・農協支所との境を見通しが利くよう、メッシュフェンスで囲う (子供がよじ登らないように、足掛けできないようにする) ・照明(駐車場の周りは、足元灯やガーデニング灯など低い照明を設置)
○植栽	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンス沿いに花壇を設置 ・高木は六本松が既にあるので、西側の日除け用に2~3本植える程度とする
○休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・西側に日除け用の藤棚を設置し、下部にベンチを置く ・公園の中央に噴水を設置 (噴水はイベント時には、水を止めて広場として使用できるよう地盤面とフラットになるように設置) ・座って噴水が眺められるよう、噴水の周囲に四阿(あずまや)とベンチを設置
○修景施設	<ul style="list-style-type: none"> ・六本松の周辺に、水深3~5cm程度の浅いせせらぎを設け、六本松を渡る橋を架ける(身障者用のスロープも設置)
○遊戯施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が自由な発想で遊べるように、築山を設置
○便益施設	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、駐輪場の設置 ・自治会等の集合場所になるので、バスが一時的に停車できるスペースを確保 ・トイレ、手洗い(子供が泥だらけになるので、築山付近に設ける) ・六本松、浄瑠璃姫の墓の案内板を設置 (大きく、わかりやすい物にする)
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮する

(2) 管理方法

<前提>

使う人、近い人、地域の人が日々使ったら、きれいにする。(呼びかける)

整備段階で関連団体と協議し、依頼する。

想定管理場所と管理主体

管理場所	想定される管理主体	備考
○トイレ	・シルバー人材センター	・町より依頼
○落葉等日常 清掃	・中学生 ・自治会 等	・日々皆で目を配り、汚れていたら簡単で良いので 清掃をする ・ボランティア活動の単位が取れるようにする ・区の当番制にする
○花壇の植え 込み・散水・ 草取り	・さくらワーク ・花と緑の会 ・女性の会 ・子供会 ・老人会	・長い花壇なので、ブロックごとに区切って、複数 の団体で管理する ・花壇だけでなく、フェンスを利用したフラワーハ ンギングなど、異なる団体の管理により、変化の ある植栽演出が可能 ・複数の団体で順番に散水を受け持つ
○樹木の剪定	・行政	・高木は素人では危険なので、行政が造園業者に委 託

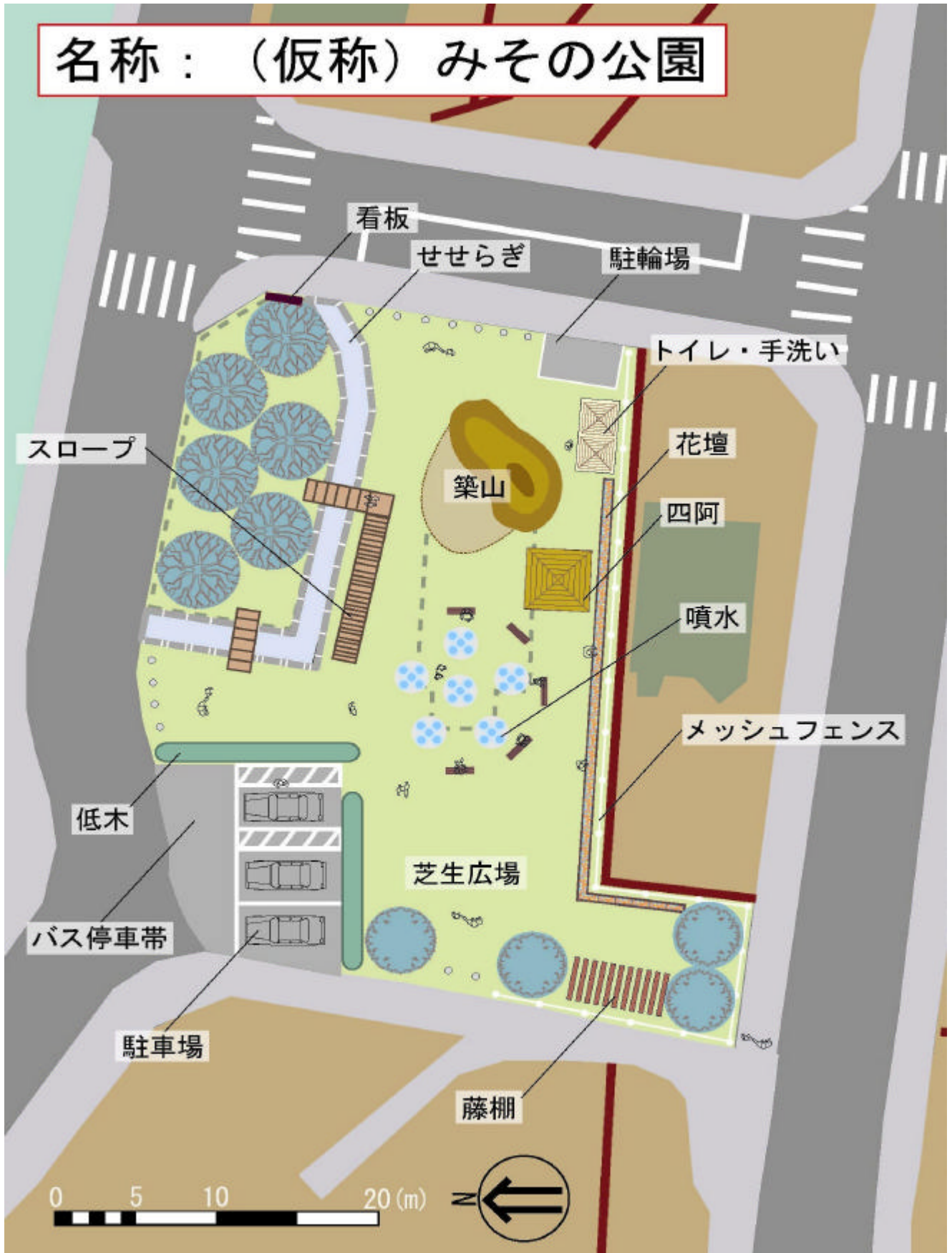
(3) PR 方法

- 新蒲原駅のホームに、駅周辺の史蹟を載せた看板を設置する
- てくてくマップに載せてPRする
- 蒲原町の広報、ホームページを活用する

ワークショップの検討風景



名称：（仮称）みその公園



3. 中部地域における重点検討地区整備構想

中部地域のワークショップ参加者によって、「地域別構想」の中から重点的に検討すべき基本目標等を次のように捉えました。

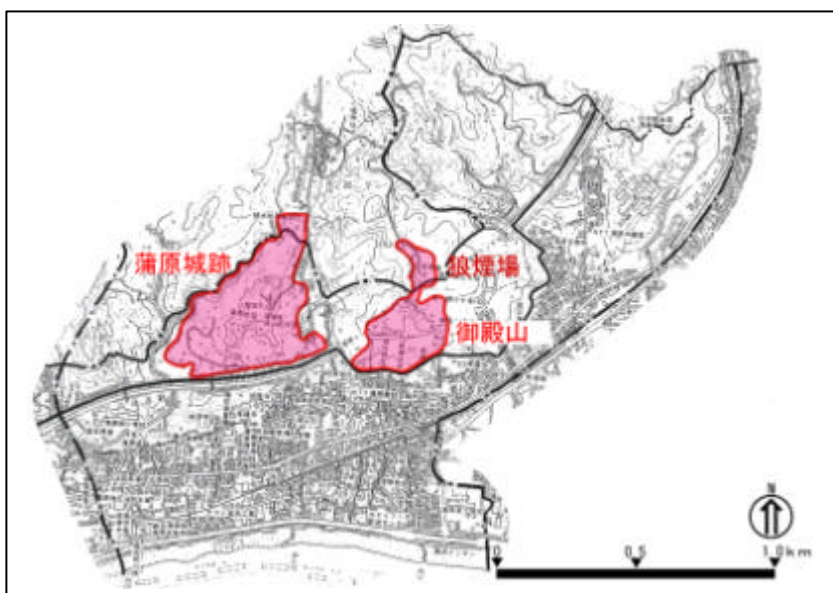
地域別構想の中から選定した基本目標等

基本目標	選定理由	選定場所	構想づくりの方向性
海・山・川の自然環境の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○平成14年度に本町地区のワークショップにより、『みんなで作る旧東海道をいかしたまち』の検討を実施 ○桜の山として、東海道と並んで知名度の高い、御殿山の植栽の充実の要望が高い ○蒲原城跡は、歴史公園として整備することが決定しており、町で整備計画を策定している ○以上の理由から、隣接する御殿山と蒲原城跡のハイキングコースの一体的整備構想を住民ワークショップで検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿山及び蒲原城跡 (狼煙場を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿山から蒲原城跡を回るハイキングコースを整備

1) 重点検討地区

重点検討地区は以下に示す場所です。

重点検討地区



2) 御殿山、蒲原城跡周遊ハイキングコース構想

名称：『御殿山、蒲原城跡周遊ハイキングコース』

ハイキングコースの性格

- 新蒲原駅を基点とした、わかりやすいハイキングコース
- タイプ別に分け、いろいろ楽しめるハイキングコース

(1) 具体的構想(案)

区分	内容
○基本ルート	新蒲原駅 御殿山 狼煙場 善福寺 三の曲輪 大手口 のの字トンネル 東海道 新蒲原駅
○タイプ別コース	<ul style="list-style-type: none"> ・上記ルートから善福寺を回らず、蒲原城跡入り口に至るルート ・上記ルートから 三の曲輪、大手口を通らず、本曲輪から のの字トンネルに降りるルート など、タイプ別に2時間コース、半日コース、3kmコース、5kmコース等を設定
○休憩スペースの位置、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・狼煙場広場にベンチ、四阿(あずまや)を設置 ・狼煙場～善福寺間の小山の頂上部に茶屋、即売所、ベンチ等を設置(当面はベンチ程度とし、茶屋、即売所は季節や土・日など特定日のみ開設する) ・三の曲輪に温泉、体験農園、焼き物等の体験工房、ベンチ等を設置(蒲原城跡整備計画に合わせて進める)
○案内板	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にルート全体と現在の位置が共通してわかるもの ・特に、「のの字トンネル」については、しっかりとした解説を入れる(70年以上前に手掘りで掘ったトンネルであることなど)

ワークショップの検討風景



4. 西部地域における重点検討地区整備構想

西部地域のワークショップ参加者によって、「地域別構想」の中から重点的に検討すべき基本目標等を次のように捉えました。

地域別構想の中から選定した基本目標等

基本目標	方針	選定場所	基本的な方向
人にも優しい道づくり	○歩車共存道路の整備	・山手線	・山手線を歩行者も安心して歩ける道路として整備する
身近な緑に親しめるまちづくり	○歴史的資産の活用 ○新設公園の整備	・山手線沿いの神社・仏閣 ・神沢川東側材木置場跡	・山手線沿いにある神社・仏閣のいわれ等の顕彰を行なうと共に、コミュニティの場として整備する ・日軽金に働きかけ、青山荘の積極的な活用を図る
多様な交流が展開されるまちづくり	○駅周辺の賑わい創出	・駅周辺	・空き地・空き店舗を商業・展示・コミュニティ空間として利用し、地域住民の手で蒲原駅周辺の賑わいを創出する

< 選定理由 >

西部地域のまちづくり将来像の「安心して住み続けられる快適な居住環境づくりと、多様な交流が展開されるまち」に対し、住民の関心が高く、住民ワークショップで検討しやすい内容を選定しました。

1) 重点検討地区

重点検討地区は以下に示す場所です。

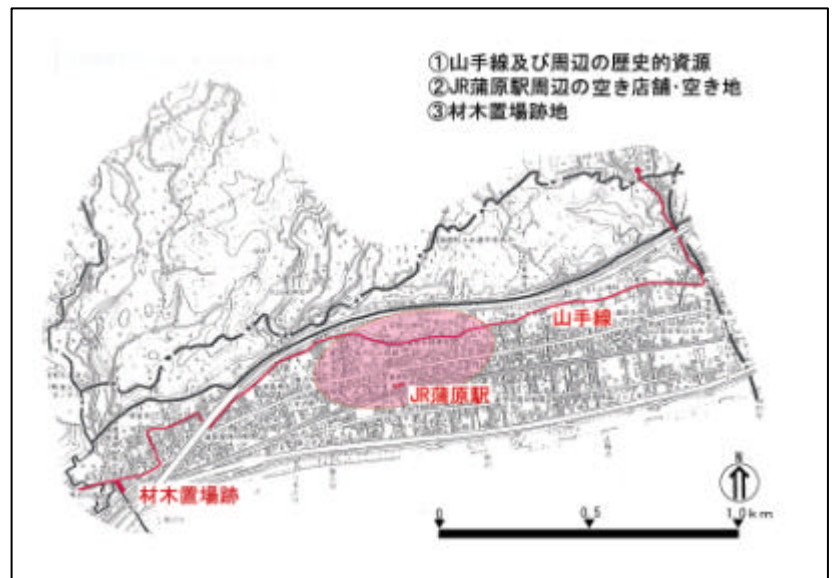
2) ワークショップの検討項目と検討内容の範囲

(1) ワークショップ検討項目

- 山手線の「危険箇所の確認とその安全対策の提言」
- 居住者はもとより「来訪者にも優しいルートづくり」
 - ・山手線を主軸としたウォーキングルートマップの素案づくり

- ・山手線沿いの歴史資源の由来の掘り起こし
- ・神沢川東側の材木置き場跡地の利用検討
- ・JR 蒲原駅周辺の空き店舗・空き地の活用検討

重点検討地区



(2) 今回のワークショップの検討内容の範囲

今回のワークショップで検討した内容は、以下のとおりです。

蒲原西部 歴史ウォーキングMAP

- 山手線の危険箇所の確認と安全方策の検討
- 素材集め（写真撮影 / 歴史資源の由来の整理）
- 案内板・誘導板の設置ポイントの検討
- 神沢川東側の木材置き場跡地の利用検討
- ルート・MAP の名称の検討
- ウォーキングMAP の素案づくり
- ウォーキングMAP の原案づくり（素案の確認・修正）
- 町へ原案提示
- 町で印刷（駅・公共施設等に配備）
- 町で案内看板・誘導看板の設置

ワークショップの検討風景



今回のWS範囲



西部交流サロン

- 空き店舗・空き地の確認
- 空き店舗・空き地での活動内容の検討
- 企画書の作成
- 空き店舗・空き地の借家・借地料の交渉 / 出店や営業関係の機関・個人との交渉
- 収支計画書の作成
- 個人、企業の出資金を募る
 ← (行政に助成金の依頼)
- 会の運営規約を作る
- 借家・借地契約を結ぶ
- 店舗の改修を行う
- 営業開始

今回のWS範囲



ワークショップの検討風景



3) 検討内容

(1) 山手線の『危険箇所の安全対策』

山手線を歩行者も安心して歩ける道路とするために、最低限、以下の内容を実施する。

- 歩道が設置されていない場所は、通行帯のラインを全線にわたって引く。(特に小金地区)
- 上山神社付近に「交通注意」を促す表示を行なう。
- ルート上に適宜「ウォーカーあり、ゆっくり走ろう」の表示を付ける。(83頁参照)

(2) 『来訪者に優しいルートづくり』

来訪者も安心して山手線を歩けるよう、以下の内容を実施する。

- 案内板の設置(JR蒲原駅前や公園等)
- 誘導看板の設置(ルートが右左折する箇所に適宜)
- 公園や神社等にトイレ利用可能表示を行なう。

特に、JR蒲原駅のトイレは「駅構内を通して利用する」旨を駅舎内外に表示する。

- 東名下公園に花壇の整備を行なう。
- 空き店舗や空き地等を活用した、来訪者と地域住民との交流施設・交流広場を整備する。(83~84頁参照)

(3) 山手線周辺の歴史的資源をウォッチングして散策できる、ウォーキングマップづくり

- 山手線周辺の歴史的資源を掘り起こし、由来等を整理する。
- 案内板・誘導看板、トイレの設置場所、バス停、蒲原町特産品販売施設等を表示した、ウォーキングルートマップを作成し、JR蒲原駅や公共施設等に配備する。
- マップの名称は、神沢・堰沢・中・小金の四つの村が合併して現在の西部地域が形成されたことから、「四ヶ村ウォーキング」MAP - 蒲原町西部地域 歴史散策 - とする。

(84~87頁参照)

(4) 神沢川東側の木材置き場跡地の利用検討

- 蒲原町の西部地域は、はまかぜ公園しか実質利用できる公園がなく、公園空白地域である。
- 神沢川東側の木材置き場跡地の用地取得を前提に、公園として利用する。
- 由比町との境の旧東海道沿いで、由比本陣公園にも近いことから、ウォーカーにとって蒲原町への西玄関口と位置づけられる。
- 地域住民の憩いの場所、ウォーカーなど来訪者の休憩場所として使用する。
- 蒲原町西部地域の製塩づくりの歴史を継承していくためにも活用できるよう「塩の資料小屋」の設置を行なう。(現在、東名下公園にある塩づくり小屋の移設+程度の規模)
- 公園名称は、西部地域の新たな公園づくりに夢を託して、仮称「夢づくり公園」とする。

(88頁参照)

(5) JR蒲原駅周辺の空き店舗・空き地の活用検討

- 蒲原駅周辺の空き店舗・空き地を活用して、西部地域の賑わいを創出する。
- JR駅前の空き店舗等を活用して、地域住民と来訪者との交流サロンを設置する。
- 望月製材跡地を活用し「蒲原市^{いち}」を開催するなど、地域住民と来訪者との交流広場とする。
- 名称は、賑わいづくりを目的として、仮称「西部交流サロン」、「西部交流広場」とする。
- 所有者との交渉により、暫定利用や実施不可となる場合も想定されるが、この考え方を基本的に西部地域の賑わいづくりに取り組んでいく。(89~92頁参照)

蒲原西 四ヶ村歴史資源の由来』構成イメージ

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ○○公園 2. 海からきたお地蔵さん 3. 正八幡宮 4. 海宝寺 5. 観音堂 6. 東名下公園 7. 志田邸 8. 津島神社 9. 霊光禅院の庚申さん 10. 淡島神社 11. 関口神社 12. 青山荘 13. 八幡大明神 14. 天満天神宮 15. 上山神社 16. 白泉寺 17. 庚申さん (小金区) 18. 中尾羽根川親水公園 | <p>蒲原町西部地域四ヶ村</p> <p>製塩と塩商い</p> <p>海からきたお地蔵さん</p> <p>海宝寺</p> <p>観音堂</p> <p>祇園さん (津島神社)</p> <p>田中光顯翁と青山荘</p> <p>淡島さん (淡島神社)</p> <p>蒲原駅開設</p> <p>秋葉山 (中区)</p> <p>庚申さん (小金区)</p> <p>中尾羽根川親水公園</p> |
|---|--|

○秋葉神社
(神沢区)
○山の神

○大山祇神社
○霊光禅院

○JR 蒲原駅
○空き店舗
(西部交流サロン)

○秋葉山
(中区)

迷惑駐車は止めましょう
ゴミを持ち帰りましょう

< その他の資源の概要 >

NO	神社・仏閣・公園等	概要
	○○公園	
	正八幡神社	
	秋葉山	
	山の神	
	東名下公園	
	志田邸	
	大山祇神社	
	霊光禅院	
	霊光禅院の庚申さん	
	空き店舗 (西部交流サロン)	
	関口神社	
	八幡大明神	
	天満天神宮	
	秋葉山	
	上山神社	
	白泉院	

お問合せ先 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ Tel0543 - 00 - 0000

蒲原西 主な歴史資源の由来

神社 仏閣

【海からきたお地藏さん】:《いわれ》まだ東海道線も通っていなかった昔むかし、海岸に打ち上げられた”お地藏さん”を浜で見つけたおじいさん。大事に家にお連れしたが、おばあさんに「おまつりが大変」と断られ、やむなく海へ返した…が、またもや浜に上がっているお地藏さんを見つけたおじいさんは「よっぽどわしに縁があるんじゃ」と再度家に連れ帰り自ら祠をつくりお祭りしたという。

【正八幡宮】: 神沢区の氏神様。祭神は「品陀和気命」

【海宝寺】: 臨済宗妙心寺派。開山は天正年間、本尊釈迦如来。旅の通行手形を発行していたお寺で当時はこれがないと旅が出来なかった。徒歩での旅であった為万が一帰れなくなる事を思っ出て掛けた旅であった。当時の「おかご」を保存。室町時代には京都から公家が来山した記録がある。江戸時代に一度全焼し約 50 年間建物のない時代もあったようだ。

<文化財> 観音堂・地藏菩薩・公家来山の絵・全国往来通行札

駿河湾の眺め抜群 / 海拔 = M

【観音堂】: 昭和 12 年に作られた”つるしかざり”が、67年たった現在でもそのままの状態で飾られている。

【山の神】: 東名高速道路建設の為、昭和 42 年霊光院のすぐ西隣に移る。4 月第一日曜日桜吹雪の下でお祭りが行われる。昔は 1 月 17 日が祭日、大山? 命を祭神とする。

神奈川県の大山さんが本宮、森林を守り田畑の豊作を祈願した。

【秋葉山】: 守護神として後に火防（ひぶせ）信仰の対象となる三尺坊は、宝亀 9 年（778）に信濃下高井郡穂高町木島平の長光寺に生まれ、幼名を周国（かねくに）といった。

秋葉山は火伏せの神で 1 月 18 日が祭日、他の区より小正月が一日多かった。区を見渡せる処にあり山桜がきれいな花を咲かせる。貞心寺山頂に秋葉三尺坊大権現があり、毎年 1 月 15 日にお祭り（火渡り）が行われる。

平成 9 年 10 月再建立された。

【津島神社】(津島牛頭天王社): 「天王さん」、元禄時代に回船業をしていた荷居屋の船が津島沖で難破した時、そこに祭られていた神社よりお札を頂いてきて個人で祭ったのが初めて、以後昭和 5 年有志により区の氏神として移転したもの。

【大山祇神社】: と関連?

【霊光禅院】: 霊光院の観音様は、江戸初期作の観音像といわれ 8 月 10 日にお祭りが行われる。臨済宗妙心寺派。昭和 42 年現在の場所に移る。

住職は後藤憲亮（ケンリョウ）19 世、納骨堂屋上に聖観音菩薩立像（身の丈 5m）がある。

【関口神社】: 堰沢区の氏神様。歴史の古い神社で一千余年前の延喜 5 年（905 年頃）の創建という。1781 年に再建。祭神は「建角身命」（タテツミノミコト）。祭りは 10 月中旬。駿河記には「住吉神社」とあり、駿河志料には「住吉社」とある。住吉明神が相殿として合祀されたもの。

【青山荘】: 明治時代に宮内大臣までつとめた田中光顕伯爵の別荘。76 歳から 97 歳までの 21 年間を過ごした。現在は日本軽金属（株）の所有。

【八幡大神宮】: 中区の氏神様。祭神は「誉田別命」（ホシダワケノミコト）「品陀和気命」。毎年初詣で

大いに賑わう。菅原道真（天神様）も祭られているため、新 1 年生になると揃ってお祝いを受ける。フキが自生していることから地下水の流れがある。

【**天満天神宮**】：(菅原道真公) 天満天神宮は境内社として別殿であったが、孝明天皇の安政元年 11 月 4 日（1854）の大地震に社殿が破壊した為、一時本殿内に安置したが以後引続き合祀し、別殿を廃止し現在に至る。

【**貞心寺**】：宗派は曹洞宗。住職は坂本泰俊 27 世、本尊は釈迦牟尼仏。鎮守、秋葉三尺坊大権現。昭和 44 年（1969）に鐘楼堂・山門を建立。昭和 50 年（1975）子育て地蔵尊建立以来参拝者が多い。また梅花観音は七九番札所に指定され県内外より多くの参拝者が訪れる。境内には水子地蔵をはじめたくさんのお地蔵さんが祭られ、毎年 8 月 24 日地蔵盆会が行われる。

【**上山神社(うへのやま)**】：小金の氏神様。創建が天和 3 年（1683 年）5 月と記録されている。祭神は「淤母陀琉神」（オモダルノ神）「阿夜詞志古泥神」（アヤカシコネノ神）
 <末社> 大山祇神社 ?（山之上神社）

【**白泉寺**】：宗派は曹洞宗（旧貞心寺末）。住職は野田義綱 2 世。

【**庚申さん**】：(小金区) 物が紛失すると地蔵さんを荒縄で縛って物が出てくるように願をかけ、運よく物が見つかると荒縄を解いてやり、地蔵さんへお礼の赤飯やお餅を供えたもの。地蔵さんは諏訪神社境内にあり戦後まではこの風習が残っていた。

帝釈天を祭り現在はご近所の老人憩いの場となっている。



穴 場?

古井戸 近所の人達の生活用水として使用してきた井戸で 100 年以上たっている。屋根があり耳を澄ませば滑車の音が聞こえるよう。

防空壕 関口神社の裏にあり、町に残る戦争のあとが当時そのままのかたちで残っている。

志田邸庭 (明治の洋館のある家) 神沢を昔から治めてきた志田家の新屋 (家) で、明治・大正時代蒲原町長を務めた志田徳治さん宅。洋館は当時のままで、外見は洋風だが屋内は和風でお庭も素敵。

格子のある県道の家並み 東海道宿場町の面影を残す。家の中から格子戸越しに外を通る人達を見るのも又格別の趣があるとのこと。

浪除土手 (ナミヨケドテ) 昔、松ノ木が植えられていた堤で、寛政 12 年 (江戸時代) の神沢村絵図に浪除堤とされる。

小金沢の大岩 :この大岩には黄金の花が咲くと言い伝えられ、東大寺の大仏鑄造にこの砂金を献上したといわれる。

天平 19 年 (747) に、聖武天皇が東大寺に大仏をつくる命令を出したので、この金は大仏のめっきに使われたと思われる。

『続日本紀』には「金を出した郡はその年の田租 (租税) を免除され、たくさんの褒美をいただいた」とあり、1 年間の租税を免除された郡民の喜びは、想像を絶するものがあつたと思われます。「金」がとれたところは、蒲原町小金であるとされ、古くから小金沢にある大岩または夫婦岩であると伝えています。

(ふるさと蒲原の歴史) 蒲原町教育委員会発行

仮称「夢づくり公園」(神沢川東側 材木置き場跡地)の利用検討結果

公園の性格

地域住民の憩いの場
 ウォーカーなど来訪者の休憩
 の場
 ウォーカーにとって蒲原町
 西部地域の西玄関
 塩の資料小屋の設置など特徴
 のある公園づくり

基本的な施設

- トイレ
- 水飲み
- ベンチ
- 照明

植栽

- 花壇
- 樹木(木陰)
- 芝生

その他の施設

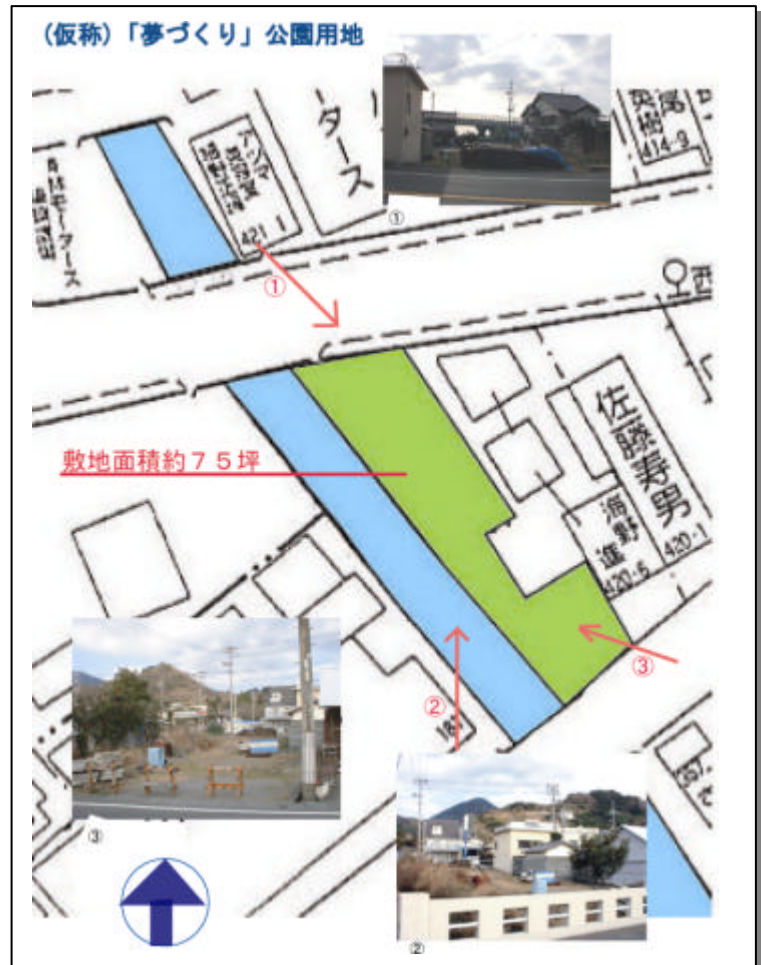
- 塩の資料小屋…………… 5～6坪程度の建物(簡易なものでよい)
 今川時代から神沢地区に伝わる塩に関する資料の展示
 (塩釜、かまど及び付属品など)
- 四阿(あずまや)
- 安全柵

管理

○塩の資料小屋を作ってもらえれば、「神沢塩づくりの会」で、この公園の管理も行う。

注意すべき内容

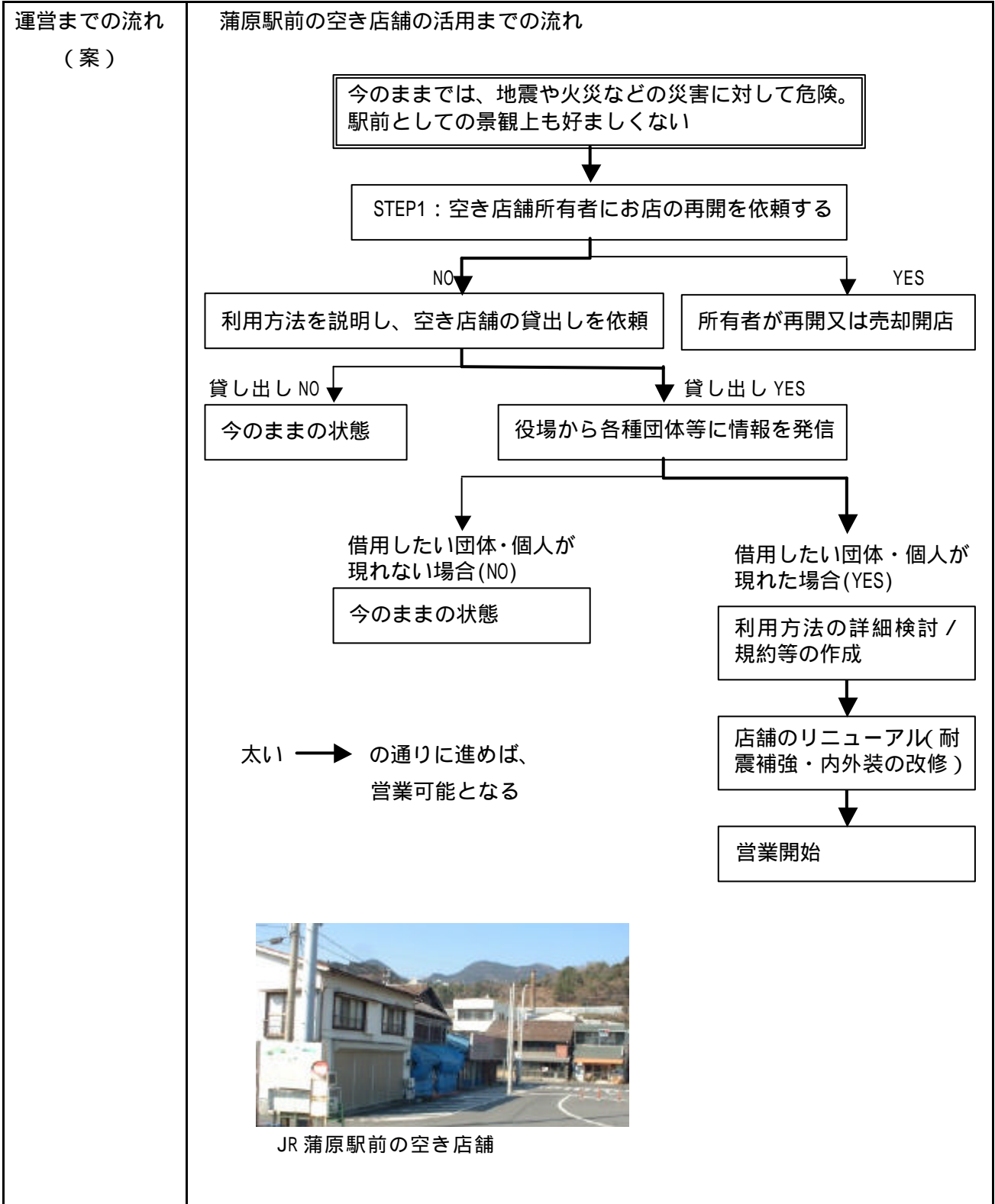
- 風が強い
- 河川敷の利用にあたっては、関係機関との協議が必要
- 用地の取得が先決

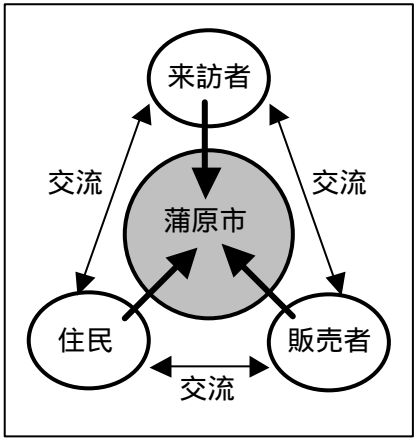


『西部交流創出支援事業（案）』

事業内容	空き店舗対策事業
所在地	JR 蒲原駅前
商店会名	名称なし（近隣型商店会）
事業展開テーマ	<p>テーマ：『西部交流サロン』・・・生活ほっとステーション - 西部交流創出支援事業 -</p> <p>蒲原町西部地域に住み続けるために、また、蒲原町に訪れる人々のために、本拠点施設と JR 蒲原駅周辺の生活支援施設との連携と紹介。</p> <p>蒲原駅周辺を商業の場と共に、暮らしの情報提供・生活支援の場、語らいの場・癒しの場と位置づける。 【住民と商店（会）との一体感】 また、地域の産業（商工業・農林水産業・観光等）の情報発信・販売拠点とする。</p> <p>蒲原駅周辺の買い物やウォーキングの際に、ここに立ち寄り一息入れる。 暖かなもてなしに「ほっと」する。</p>
基本スタンス	・初年度は、赤字覚悟で、あらゆる可能性を探る実験的事業段階として捉える。
事業計画案	<p>初年度は定期朝市及び地場産品 B 級品販売をはじめめる。</p> <p>2 年度は初年度の活動に加え、店内壁面をフリースペースとし、幅約 <input type="text"/> cm × 奥行約 <input type="text"/> cm のスペースを 1 ヶ月単位でレンタルして、出店者に各々自由に活用してもらおう。（スペースによっては、2 箇所に店舗を分ける）</p> <p>展示品の販売は委託により店員が行い、売上の一部を手数料として戴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> < 一般住民 > ... 「手作り品展示ギャラリー」的な活用 < 地元企業 > ... 「ミニショールーム」的な活用 < 商店 > ... 「パイロットショップ」的な活用 <p>商品や展示物を頻繁に入れ替えることによって、常に情報鮮度が保たれ、お客の来店頻度を高めることが期待される。</p> <p>店内の一部を休憩・飲食コーナーとし、来街者がホッと、一息つけるスペースを確保する。低廉な価格でセルフサービスにより、健康茶などを提供する。</p> <p>月 1 回程度、住民が講師となって小規模なカルチャースクール（農業セミナー・</p>

<p>事業計画案</p>	<p>塩作り・桜えびの不思議・お茶の美味しい入れ方・クッキー作り・蒲原の歴史・健康教室等々)を開催し、身近な地域文化に触れる。</p> <p>町内の観光案内、地域の祭りや商店(会)のイベント情報、さらに行政と連携して、まちづくりに関する様々な情報を発信する。</p> <p>蒲原西部「四ヶ村ウォーキングルート」MAPの作成、配布も行う。</p> <p>その他、来街者に対し、トイレ貸します、傘貸します、手荷物預かります等の無料サービスを実施する。</p> <p>ここを拠点に、以下の「参考」に示す施設等を、蒲原駅周辺に誘致する。</p>
<p><参 考></p>	<p>【高齢者にも優しい蒲原駅周辺の立地施設】 <input type="checkbox"/> : 特に当地域に望まれるもの</p> <p>衣…洋服店、クリーニング店、床屋・美容院</p> <p>食…レストラン・食堂、喫茶店(日本茶喫茶)、酒店、スーパー</p> <p>住…不動産屋、設計事務所、工務店、(福祉住環境相談)</p> <p>健…公園、スポーツ施設、スポーツショップ、鍼灸・指圧、湯(足湯)</p> <p>医…病院、医院・歯科医院、福祉関連施設(デイサービスセンター)、調剤薬局(漢方)、介護予防施設</p> <p>文…文化センター(催物企画)、(店の間ギャラリー)、生涯学習</p> <p>娯…囲碁・将棋、カラオケ、パチンコ、ゲートボール、園芸、教室</p> <p>足…駐車場、駐輪場、貸し電動スクーター、買い物お助けマン、循環コミュニティバス</p> <p>相…税務相談、介護相談、(福祉)住環境相談、その他悩み相談</p> <p>他…植栽及び植栽管理</p>
<p>期待される効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店(会)に消費者との新しい交流接点ができる。 ・商店(会)の集客施設として、賑わい創出が期待できる。 ・駅周辺地区に回遊ポイントが加わる。 ・住民の作品発表の場(住民ギャラリー)となる。 ・高齢者をはじめ、来訪者が憩えるコミュニティの場ができる。 ・蒲原町の情報発信ができる。 ・蒲原町の特産品(物)のPRができる。 ・企業にとってもアンテナショップとしての利用価値がある。 ・空き店舗対策に貢献できる。



事業内容	空き地活用対策事業
所在地	望月製材跡地
事業展開テーマ	<p>テーマ：西部交流広場』・・・蒲原市の開催 - 西部交流創出支援事業 -</p> <p>西部交流サロンの空き地編 蒲原町西部地域の暮らしを楽しむために、また蒲原町に訪れる人々との交流のために、望月製材跡地を活用して、「蒲原^{いち}市」を開催する。</p> <p>【住民と来訪者と販売者の交流】</p> <p>地域の産物（野菜・果物、水産物）等をリーズナブルな価格（安価）で販売する。</p> <p>蒲原駅周辺の買い物やウォーキングの際に、ここに立ち寄り一息入れる。</p> 
基本スタンス	・ハードな施設造りは行なわず、テント張りで販売する。
事業計画案	<p>最初は西部地域の住民に呼びかけ、月に1回程度、実験的に販売して状況を見る。（各所に設置されている無人販売を集合したようなもの） 蒲原西部「四ヶ村ウォーキングルート」MAPも配布する。 順調なら曜日や日にちを固定して、定期的に行う。 西部地域以外の町民にも呼びかけ、朝市や昼市の他に、ナイトバザールなども年数回実施する。 「蒲原市」の他、中尾羽根川親水公園等でのイベント開催など、町外の人も対象にした「山手線ウォーキング祭り」を開催する。 その際には、青山荘なども有料で一部開放してもらえるように、日軽金に働きかける。</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民・来訪者・販売者の新しい交流接点ができる。 ・来訪者の立ち寄りポイントとして、賑わい創出が期待できる。 ・駅周辺地区に回遊ポイントが加わる。 ・住民や来訪者が楽しめるコミュニティの場ができる。 ・蒲原町の特産品（物）のPRができる。 ・空き地活用に貢献できる。